

2016～2017 釧路北ロータリークラブスローガン「堅実な精神で誠実な奉仕を」

7月20日（水）本年度第3回（通算 第2832回）

前年度優良出席会員表彰

担当/理事会 12時30分～釧路プリンスホテル

◆お客様と来訪ロータリアン

小林 貢君（終身会員）

◆メーキャップ

7/15 本間 明美さん（釧路南 RC）

7/19 伊賀 敬司君、大友 淳君、川村 真一君、富樫 孝之君、平井 昌弘君、本間 明美さん
（以上6名 浜中 RC）

◆出席報告【会員総数 73名 免除 6名 出席計算に用いた会員数 73名】

本日の出席率	出席者 43名	メーキャップ 7名	出席率 68.5%
前々回の修正出席率	出席者 45名	メーキャップ 18名	出席率 86.3%

◆ニコニコ献金（今年度累計 108,000円）

- ・今日の例会よろしくお願ひします ～富樫 孝之君、平井 昌弘君
- ・入会記念日です！ ～大友 淳君
- ・入会して1年経ちました ～香川 謹吾君、仁木 久司君
- ・本日司会です。よろしくお願ひします ～川村 真一君
- ・本日、優良出席例会よろしくお願ひします ～坂入 信行君
- ・半分死にかけてます・・・ ～泰地 浩幸君
- ・優良出席者の皆さんおめでとうござひます ～高橋 貢君、日比 龍雄君
- ・入会32年目です ～田村 憲一郎君
- ・入会して1年になりました。バースデーケーキありがとうござひます ～松田 有律香さん
- ・久々の例会です ～水野 光輝君
- ・新年度スタートおめでとうござひます ～小林 貢君

◆会長挨拶《富樫会長》



みなさんこんにちは本日の第三回目の例会出席ありがとうございます。

まず、昨日最後の表敬訪問として浜中ロータリークラブ様に行ってまいりました。いつもながらのとても優しく、丁寧な歓迎を受けてまいりました。浜中クラブの西原会長が先日私どもの例会に表敬を頂いた時お話をされていましたが、やはり会員の減少、経済状況の変化に伴いクラブの活動、継続が難しいとの話題にもなりました。しかし2年後の50周年までは全員で頑張る。そしてその後また検討するとのことで、私たちの出来る応援、支

援は最大限協力するとお約束をしてきたところでありますので皆さんも浜中で新入会員の候補でもいれば推薦をされたり、出来る限りの協力をお願いいたしたいと思ひます。

さて本日は前年度の「優良出席会員表彰」ということで前年度 100%出席の会員の表彰とスピーチを頂く例会となっております。出席率向上は今年度の重点目標の一番目にもなっておりまして、前年度 100%を表彰した中で出席することの意義を改めて理解して頂き、出席することで初めてロータリアンとしての主張、そして奉仕の実践ができるものだと思います。

来年のこの例会時に更に一人でも多くの 100%会員が増えていることを期待して本日の会長挨拶とします。

今日、一日宜しくお願いいたします。

◆プログラム 《前年度優良出席会員表彰》



出席委員会

委員長 日比 龍雄君

●前年度優良出席会員の紹介（年数は累積年数）

- 1、鈴木圭介君（1年）
- 2、長内信辰君（1年）
- 3、多田洋平君（2年）
- 4、平澤利秀君（2年）
- 5、田野竜之介君（2年）
- 6、菊地美恵子君（2年）
- 7、平井昌弘君（3年）
- 8、富樫孝之君（3年）
- 9、中島谷友一郎君（3年）
- 10、佐渡正幸君（5年）
- 11、小林裕幸（5年）
- 12、大友淳君（5年）
- 13、本間明美君（7年）
- 14、坂入信行君（11年）
- 15、足立功一君（13年）
- 16、石井東洋彦君（15年）
- 17、森山義文君（16年）
- 18、萩原昭博君（16年）
- 19、北川健二君（16年）
- 20、中島嘉昭君（18年）
- 21、松原久幸君（28年）
- 22、小松亮次君（32年）
- 23、田村憲一郎君（32年）

以上、23名。



前年度優良出席会員の皆様と記念撮影

●優良出席者（代表）の方からのスピーチ



本年度副幹事
鈴木 圭介 君
(累積1年)

釧路北ロータリークラブに、森山会長エレクトのご紹介により入会させていただきました、4年目となります。そこで初めての表彰をうけさせていただくこととなりました。表彰とは不思議なもので継続して受けたいとなりますね。

さて、ロータリークラブで4つのテストというものがありますが、実は考えてみると、税理士として成功するための原理に合致します。「真実かどうか」は税法の適用場面で重要であります、間違った状況判断をしてしまうと大変なこととなります。「みんなに公平か」は、そもそも税法の理念でありますし、「好意と友情を深めるか」は、顧客拡大をする上で重要です。「みんなのためになるかどうか」は、税というものが治安や国防、道路を建設したりというときに、税が使われている。そこで顧客企業を説得する際に重要な考えとなります。このようなことを考えると、最近、ロータリーというものが、自分の職業や生活に馴染んでいっていると実感します。

2年目の表彰も受けられるよう頑張っていきたいと思います。



本年度副会長
大友 淳 君
(累積5年)

皆さんこんにちは。累積5年のクラブ表彰をいただきまして大変ありがとうございます。私のスポンサーは今は亡き松田信明パスト会長でした。入会を決めたのは5月くらいでしたが、申込書を提出し、初めて出席したのが7月23日でした。過去の活動計画書で振り返ると村井会長年度の「出発式」でした。その時は解りませんでしたが、大変な日に入ったものだと振り返っております。実は記録にならなかった100%出席の年がありまして、入会年度の年でした。私の記憶だと1日も休まず出席しました。ただ、入会初日が第4例会という事で、3回出席していませんので100%にならなかったと理解しております。なぜ、入会以降、全ての例会に出席したのかと言いますと、入会前からロータリアンの友人からクラブの雰囲気は聞いておりまして、入会後も初めが肝心と考え、また皆さんに覚えてもらうためにとの思い、さらに一番大きかったのは推薦してくれた松田さんの顔を立てなければと考え出席して参りました。

これから100%を目指す方もいらっしゃると思いますが、「水曜日に時間があったら例会に行こう」ではなかなか達成できません。優先順位を上げて、水曜日は例会があると体の中の時計に刻まないと難しいと思います。私はその後もあらゆる役目を受けて休まないでやってきましたが、これから目指す方々も優先順位を高めて頑張っていきたいと思います。本日は大変ありがとうございました。



本年度ロータリー情報委員会

委員長 石井 東洋彦 君

(累積 15 年)

15年の表彰をいただきました石井です。ありがとうございます。毎年表彰をいただく時に思うことは、「今年も1年間出席できたな」と思う程度でしたが、今年は15年という節目を機会にこれまでを振り返ってみました。出席については私がクラブに誘っていただいたときに、「年会費を納めること」と「例会に出席すること」は「会員の義務」と教えられておりましたから、それができなくなった時がやめる時と考えていましたので、「例会の出席」をあまり苦痛に感じたり、大変だと感じたりしたことは無かった様な気がします。

ただ今回15年間続けることが出来た理由が3つあったと思います。その一つは例会に出席する都合をつけられる職場環境や生活環境にあったということ。二つ目が入会してすぐに北クラブに魅力を感じられたこと。三つ目が一番の理由と思いますが、友人とか仲間と呼べる人たちを得られたこと。

一つ目の例会への出席ですが、会社を経営する皆さんや役員の方は定期的な時間の確保が大変難しいと思います。私の場合は入会して4年間その時の職場から例会の出席の許可をいただきまして、また時間のやりくりができる職場環境にありました。その後は年金生活に入りまして、例会中心のスケジュールが組めるようになったことが、例会出席を後押ししてくれました。二つ目の北クラブの魅力ですが、まず僕の入会日が年度の最後の「キャンドルナイト」でした。よく入会当時の話になりますと先輩たちは「ご飯が喉を通らなかった」「先輩たちの中での食事が苦痛だった」とおっしゃっておりました。僕が入った当時はそういう時代が変わりつつあったのかも知れませんが、またその入会日がアルコール例会ということがあったのかもしれませんが、「一日目からこんなに楽しくて良いのかな？」と思うくらい、テーブルの人たちに声かけをいただき、楽しんだ気がしております。そして入会后間もなくIMがありました。訳もわからないままにその時のIMの司会を務めたのですが、松原分区代理のもとでテーマが「青少年の育成」でした。つい数ヶ月前まで、教育委員会で何年間も担当してきた仕事だったこと、ゲストも教育長や教育大の先生とかお世話になった方々たちで、そこで司会という役割を与えられている自分に、クラブの会員であることを実感し、同時に北クラブとの縁を感じ魅力を感じました。三つ目の友人・仲間ですが、詩人で書家の相田みつおさんの言葉で一番好きなのが「その時の出会いが人生を根底から変えることがある よき出会いを」という言葉です。北クラブに入れていただいた事が正にその実践でした。入会を誘われたときに、市役所生活で自分が接したことが無かった、釧路を支え、リードをする人たちってどんな人なのだろう、という興味があった様な気がします。まさに60年の人生が180度変わるような、それまで全くご縁の無かった方々との出会いの場であり、そして良き出会いの連続でした。

この北クラブに出会って、今、クラブが生活の一部になっているのですが、全てが人との繋がり、そこから始まったのだという風に感じております。市役所のボーリング部の大先輩からMOOのフィットネスセンターのお話が無かったら、北クラブとの出会いはなかったと思いますし、市役所の後輩たちと、とあるスナックに通っていなかったら、北クラブの過去会長であったママの旦那からの入会の話は無かったらと思います。

フィットネスセンターの4年間の仕事を終えて年金暮らしをすることになったので、そのとき退会を考えました。それは、ロータリーは職業を通じて法師をする団体であるということに意義を感じていまして、いまでも頑なにその考えに変わりはありませんが、そんな時にも、お酒を呑みながら、ああだこうだと理由をつけて引き止めてくれたあの人、この人がいる。そういう方たちに支えられての15年間でした。

来年いっぱい保護司の仕事に週の半分は時間を取られそうですが、田村さんの32年は無理なのでせめて

あと5年、20年の声を聞くまでは置いていただいて、次々に若い会長、幹事が生れるのを楽しませていただきたいと思っております。



本年度クラブ管理・運営部門

理事 坂入 信行 君

(累積11年)

皆さんこんにちは。今回で優良出席11年目をいただきました坂入です。「だから何なのだ」と言われましたらそれまでですが、すごく意味を持たせた中で11年を過ごしてまいりました。優良出席者の中には出席免除会員の方もおられますし、出席免除会員じゃない方もいらっしゃいます。もちろん優良出席者の方もすばらしい事でありまして、活動計画書の46ページの「8・5規定」には65歳以上の年齢でロータリー暦を合わせると85歳以上の方は出席免除会員になることが出来るのですが、出席免除会員になられる方となられない方といらっしゃるのですが、小松会員と松原会員は出席免除会員にならずとして、優良出席を続けているということは素晴らしいと思っております。一つのこだわりを持って活動することが素敵だと思います。僕もそういうこだわりを持って出席を1年、2年と続けていきますと、知らないうちにもっと続けたくなり、そこで触れ合いができれば良いと思っております。それでも僕が続いた経緯は、僕がまだロータリーが楽しくも楽しくないも解らない内に、僕が副幹事という役目を仰せつかったときに、客観的な立場で居ながら一年間活動できました。僕が副幹事の時は石井さんと組ませていただきました。高橋邦弘パスト会長、そして森山幹事の時にキャビネットの副幹事として組ませていただきました。その時は毎週月曜日に森山さんのお宅にお邪魔しまして、真剣な話で1時間が過ぎ、訳のわからない話で1時間が過ぎ、だいたい2～3時間お邪魔していましたが、最初は何ヶ月もこれはつらいなと、週の半分もロータリーに費やさなければならないのかと思いましたが、それが糧となりまして、慣れてくると心地よくなってきました。副幹事の前は親睦で受付もやりましたが、ニコニコの2千円を受け取っても顔と名前が一致しませんし、メッセージの内容もわからない、後姿はみんな同じに見えてしまう。その事があり、ネームプレートを渡す、まずは顔と名前を一致させること、その前にまずは出席すること。そんなことを繰り返しながらあっと言う間に11年の優良出席となりました。もう一つは他のクラブのメーキャップでも良いですし、パソコンでのeクラブのメーキャップというのがありますので、そういう所で勉強する機会もあります。

前々年度は萩原パスト会長、多田・田野両副幹事に支えられながら活動することができました。そこからの流れに沿って奇跡の11年。これからも松原先輩、小松先輩を意識しながらロータリー活動頑張っていきたいと思っておりますので宜しくお願いいたします。

